

2019年3月号

3月15日(金)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 270



春へと移る温根内…

「そろそろ北に戻ろっかな。でもこっちまだ雪降ってるし・・・」

そんなツグミの心の声が聞こえてくるようです。日に日に暖かくなり留鳥は混群を解消し始め、アカゲラのドラミングも森に響いています。このまま一気に春へ突入かと思いきや、雪が降ってまた銀世界。この不安定な天気も季節の移り変わる合図なのかもしれません。

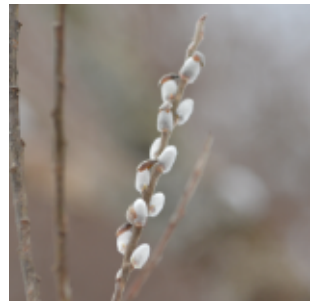
☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【フキノトウ(アキタブキ)】
キク科 秋田葺
雪の合間から顔をのぞかせる姿は、春の訪れを感じさせます。これから花を咲かせ、夏にかけてあの大きな葉を生長させます。



【キヌヤナギ】
ヤナギ科 絹柳
温根内周辺に見られるヤナギ類の中でいち早く芽鱗を脱ぎ、フサフサの白毛が露出しています。4月に目立たない花を咲かせます。



【ドクゼリの根茎】
ゼリ科 毒芹
解け始めた湿原の水面に浮かぶワサビのような物体。その名の通り毒があり、実際にワサビと誤食してしまう例もあるので注意です。



【ミドリシジミの卵】
シジミチョウ科
幼虫がハンノキを食草とするシジミチョウの仲間の卵です。大きさは1mmに満たないくらいです。根気よく探してみましょう。



【ヤチダモの冬芽】
モクセイ科 谷地楯
黒い兜をかぶせたような頂芽が特徴です。本種は木道の入口付近にも生えており、冬芽や樹形をじっくり観察できます。



【ミズナラの冬芽】
ブナ科 水楯
ドングリのなる木としては北海道内で最もなじまれています。頂芽の周りに頂生側芽という芽が数個付きます。

○表紙の写真 上：ツグミ 中右：アカゲラ 中左：雪から顔を出したホロムイツツジ 下：ケヤマハンノキの花芽

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

温根内周辺は春の気配が漂いつつあります。今まで混群を作っていたカラ類やキツツキ類は徐々に群れを解消しているようです。しかし、ツグミやオオワシといった冬鳥の姿もまだ時折見られ、冬の名残も感じさせます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽に職員までお申し付けください。



【タンチョウ】 留鳥
ツル科 丹頂
湿原の中から鳴き合いを耳にするようになりました。次の繁殖の準備をしているようです。そっと見守ってあげましょう。



【ヒガラ】 留鳥
シジュウカラ科 日雀
針葉樹などの高い地点から「チーチョ、チーチョ…」と囀る声がよく聞こえてきます。カラ類の中では最小サイズの種です。



【ツグミ】 冬鳥
ヒタキ科 鶉
群れで行動しており、冬鳥の中でも比較的安定して見られる種です。木の実を食べるほか、水のある所でも餌を採っているようです。



【ノスリ】 留鳥
タカ科 鷹
この冬はあまり見かけませんでしたが、ある日トビと仲良く(?) 旋回していました。トビよりやや小さく、白っぽい下面が特徴です。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（2月15日～3月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■オオハクチョウ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■オオタカ■ノスリ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ワタリガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■シロハラ■ツグミ■マヒワ■ウソ

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○『湿原の裏山でスノーシューハイク』3月3日 参加者：10名

スノーシューを履いて、普段は行けない湿原の裏山の森を散策するイベントを行いました。森に入っていくと、早速カラ類のさえずりやアカゲラのドラミングが参加者を迎えてくれました。最初のきつい上り坂では、落葉するカラマツと落葉しないトドマツの違いをよく観察することができました。稜線に出るとミズナラを中心とした樹木やそれに絡まって伸びるつる性樹木がよく見られ、植物たちの生き延びる上での戦略を学びました。また、湿原を眺望できるポイントでは、各植生による雪の残り方の違いがはっきりとわかりました。記録的に積雪の少ない冬だったものの何とか開催することができ、スノーシューを始めて履いたという人も多く、皆いい汗をかいて満足げな表情を見せていました。（講師：藤原伸也）



☆☆☆☆ 知ってましたか？過去の温根内通信が読めます！ ☆☆☆☆

温根内通信も今月で第270号を迎えましたが、過去の温根内通信が読めるのをご存知ですか？インターネット環境さえあれば、第200号（2013年5月号）から最新号までのバックナンバーがダウンロードできます！URLはこちら。

<http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/book/onnetushin/>

または、『温根内通信』で検索してみてください。過去約6年間の温根内の自然の移り変わりやビジターセンターの歩みがわかりますよ！



☆☆☆☆自然ふれあい行事 2019年度の予定☆☆☆☆

4月

【春の足音を聴きに行こう】 定員 15名
14日(日) 10:00～12:00
釧路湿原の環境や生態系を中心に学びながら早春の木道を歩きます。⇒現在、参加者受付中!
(温根内ビジターセンター TEL: 0154-65-2323)



9月

【アイヌ民族が利用した植物～秋編～】
定員 15名 8日(日) 10:00～12:00
実りの秋。アイヌ民族が利用した植物を観察する秋バージョンです。



5月

【アイヌ民族が利用した植物～春編～】 定員 15名
12日(日) 10:00～12:00
アイヌ民族が利用した春の植物を観察しながら、彼らの知恵を学びます。

【早朝バードウォッチング】 定員 15名
19日(日) 8:00～10:00
鳥の活動が活発な早朝、釧路湿原とその周辺に集まり始めた夏鳥を探します。



10月

【ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～】
定員 15名 6日(日) 10:00～12:00
釧路湿原に棲む絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を学び、生息環境を観察します。



11月

【初冬の植物を見に行こう】 定員 15名
17日(日) 10:00～12:00
本格的な冬を前に、植物がどのように冬を越える準備をしているのか観察します。



【クリスマスリースを作ろう】 定員 15名
24日(日) 13:00～15:00
クリスマスを前に、自然の素材を使ってオリジナルリースを作りましょう。



6月

【初夏の花を見に行こう】 定員 15名
9日(日) 10:00～12:00
花の季節到来! 湿原を演出する可憐な花や、目立たないスゲの花などを観察します。



7月

【夏の花を見に行こう】 定員 15名
7日(日) 10:00～12:00
たくさんの花を観察し、釧路湿原の最も華やかな季節を堪能しましょう。



【ホタルの週末】

26日(金)～28日(日) 19:30～21:00
釧路湿原に棲むヘイケボタル。そのふしぎな生態を学んでから夜の湿原へと出かけます。



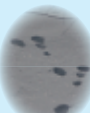
12月

【地形を見て歩く! 湿原探索】 定員 15名
1日(日) 10:00～12:00
遠くまで見渡せるこの時期。普段注目しない「地形」にスポットを当てます。



1月

【湿原アニマルトラッキング】 定員 15名
19日(日) 10:00～12:00
雪上に残る動物の痕跡から、冬の湿原にはどんな動物が暮らしているのか考えます。



2月

【初めてのスノーシューハイク】 定員 10名
16日(日) 10:00～12:00
スノーシューってどんなの? 初心者さんでも安心して参加できます。雪に覆われた釧路湿原を歩いてみましょう。



3月

【湿原の裏山でスノーシューハイク】 定員 10名
1日(日) 10:00～12:00
残雪の裏山をスノーシューで歩き、雪解けを待つ植物などを観察します。

8月

【盛夏の花を見に行こう】 定員 15名
4日(日) 10:00～12:00
盛夏の湿原で、ふしぎな植物の仕組みを観察します。熱中症対策をお忘れなく。



【ザリガニウォッチング～ウチダザリガニ編～】
定員 15名 11日(日) 10:00～12:00
特定外生物のザリガニを楽しく釣りながら、外来種の脅威と湿原への影響を学びましょう。

～開館時間が変わります～

4月1日より開館時間が変更になります。夏季(4/1～10/31)の開館時間は午前9時から午後5時までとなります。来月号からは春の便りを続々とお伝えできると思いますが、釧路地方はまだまだ寒い日が続きます。木道をご利用の際には、防寒対策を十全にしてお越しください。

月刊 温根内通信 No.270

発行: 釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター
〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185
E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～16:00 (4月～10月は17:00まで)
休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料